

暑い日が続いており、最高気温が35℃になる日もまだまだあるとの予報も出ております。都度申し上げておりますが、皆様、引き続き体調管理を十分に注意していただき、熱中症にならないよう、対策の徹底をお願いいたします。自分自身も熱中症にならない・仲間を熱中症にさせないように、注意を払ってください。

MUCC環境安全部より、2025年度8月の労働災害について、通達がありました。前年と比べて人数は減少しているものの、2023年度の8月末と比較して、約3倍の罹災者数となっており、危機的な状況が続いている。

・熱中症について

厚生労働省は熱中症で体調が悪くなった作業者の早期発見と早期対応で重症化を防ぐことを求めています。作業責任者・管理監督者は引き続き、体温を下げるために必要な休憩時間の確保とともに、作業者の異変、体調不良に気付いた際は、まず熱中症を疑って対処するようお願いいたします。

・経験が少ない人を守る

経験が少ない人は、「作業」や取り扱っている「もの」の危険に気付きにくく、適切な保護具の着用や思わぬ不安全な行動をする可能性があります。作業責任者・共同作業者は、経験が少ない人に、普段より多く目配せ、声掛けをして、労働災害から守るようお願いいたします。

がん対策推進企業アクション

第84回 小学6年生からできるがん予防がある！ を視聴した。

要約：子宮頸がんはHPVウイルスが発症原因のほぼ100%。

小学校6年生から高校1年生の女子に対して無料でワクチンが接種可能。

ポイント：「小学6年生からできるがん予防がある！」

2025.9.10

代表取締役 北岸一宏